

社会貢献活動

KOITOグループは、経営理念の一つである「社会の一員として社会の共存共栄に資する」ことを体現するため、「小糸グループ行動憲章」において『『良き企業市民』としての責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を行い、豊かな社会の実現に寄与する』ことを定めており、これに基づいたさまざまな活動を推進しています。

●ウクライナ情勢を受けた支援

KOITOはウクライナ情勢により、極めて厳しい環境に置かれている人々の安全と生活に対する支援として、2022年4月、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)に総額10万ユーロを寄付しました。寄付金はUNHCRを通じ、ウクライナ及びその周辺地域における人道支援活動に充てられます。



●ESG債券の購入

資金の運用においては、運用効率や格付けなどに加え、ESG、社会への貢献度を選定基準の一つとしています。持続可能な社会の実現に貢献すべく、2021年度は2機関によるグリーンボンドとソーシャルボンドを購入しました。

●国内における環境保全活動

KOITOでは、環境保全や生物多様性への取り組みの一環として、世界文化遺産である「富士山」の構成資産である「三保松原」の下草刈りや周辺海岸清掃活動等を実施しています。



■三保松原下草刈り(2019年)



■三保海岸清掃活動(2019年)

●海外における環境美化活動

インディア・ジャパン・ライティング・プライベート・リミテッド(IJL)では、地域住民との交流会や清掃活動等を実施、環境美化・保護に努めています。



■地元学校との交流(2019年)



■植林活動(2019年)

●各工場の地域活動への参加

KOITOの各工場では、地域住民との懇談会や、周辺自治会への工場開放(夏祭り)等を定期的に行っています。

また、地域住民を対象とした工場見学や、小・中学生を対象とした子供参観会等を実施し、企業活動への理解促進を図っています。



■夏祭り(2019年)



■子供参観会(2019年)

ステークホルダーエンゲージメント

KOITOは、「小糸グループ行動憲章」において「公正な情報開示と建設的な対話」を行う旨を定め、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するため、株主・投資家の皆様に正確な情報を公正にご提供しつつ、建設的な対話を行っています。

2021年度は、第121回定時株主総会をはじめ、証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催しました。決算説明会では、KOITOグループの業績(実績・計画)などに関する説明を行い、参加した皆様から多くのご質問、ご意見をいただきました。また、機関投資家の皆様との個別面談を延べ約220回実施、原則としてすべての面談を取締役により対応しています。面談内容やいただいたご意見・ご要望は、経営トップを含む各取締役・執行役員に報告するとともに、取締役会において報告を実施しています。皆さまとの対話から得られた知見を経営の取り組み改善につなげています。